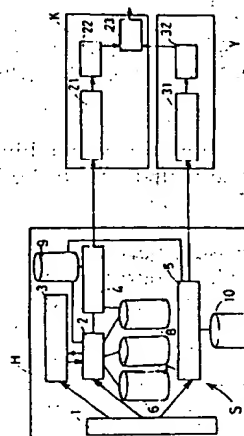


(54) COSMETICS ORDER MADE SYSTEM

(11) 4-281555 (A) (43) 7.10.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 3-68890 (22) 9.3.1991
 (71) KANEBO LTD (72) TOSHIHIRO NASUNO(2)
 (51) Int. Cl.⁵ G06F15/21//A61K7/00

PURPOSE: To obtain a system which receives an order and produces original cosmetics prepared by housing toilet materials suited to the skin characteristics of individuals in favorite containers.

CONSTITUTION: This system is equipped with a storage part 2 which stores the basic pattern data of the skin characteristics and the sample data of a cause such as living environment or the like, individual data inputting part 3, toilet material selecting part 4 which selects the toilet materials by comparing the inputted individual data with the basic pattern and the sample pattern, and data processing 5 which designs the containers. This cosmetics order made system manufactures the toilet materials and the containers by each company based on the obtained toilet material data and the container setting data, and completes the cosmetics by combining both of them.



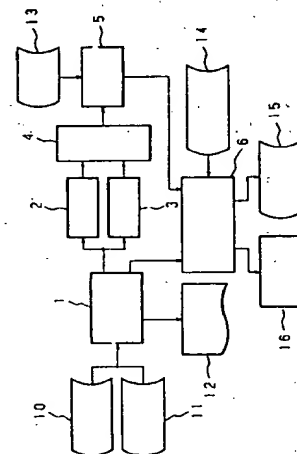
1: whole control part, 3: individual data inputting part, 6: basic pattern table, 7: sample data table, 8: toilet material data table, 9: individual data file, 21, 31: central computer, 22, 32: manufacturing part, 23: assembling part, H: market, K: cosmetics company, Y: container company

(54) STOCK MATERIAL ASSIGNING METHOD AND DEVICE FOR THE SAME

(11) 4-281556 (A) (43) 7.10.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 3-69093 (22) 9.3.1991
 (71) SUMITOMO METAL IND LTD (72) HIDEYUKI KAJIWARA(2)
 (51) Int. Cl.⁵ G06F15/24, B22D46/00//B22D11/00

PURPOSE: To appropriately execute the assignment of stock materials produced as the result of a production in the previous process to the later process in a few calculating time, and to cancel a storage capacity which is necessary at that time.

CONSTITUTION: Request information in a request billet file 10 and stock information in a stock billet file 11 is fetched to an assignment advisability judging part 1, and the set of the request information, and the set of the stock information enabling the assignment, concerning the first attribute whose significance is high, that is, material, is extracted. A corresponding relation between the extracted request information and stock information, concerning the second attribute, that is, amount and size, is statistically analyzed by a request analyzing part 2, stock analyzing part 3, and request and stock relation analyzing part 4, and the priority order of an evaluation index is decided by a priority order deciding part 5 by using the result. An assignment deciding part 6 specifies the stock to be assigned to each request in the sets enabling the assignment applied from the assignment advisability judging part 1, according to the decided priority order.



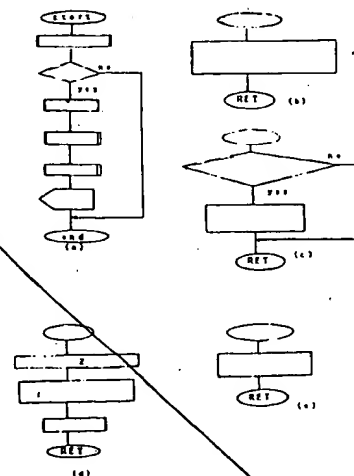
12: assignment advisability list, 13: evaluation index file, 14: condition parameter file, 15: assignment result file, 16: assignment result list

(54) SENTENCE SEGMENTATION SYSTEM

(11) 4-281557 (A) (43) 7.10.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 3-69411 (22) 11.3.1991
 (71) AGENCY OF IND SCIENCE & TECHNOL (72) HIROMI ABE(3)
 (51) Int. Cl.⁵ G06F15/38

PURPOSE: To transform a long sentence into a short and simple sentence by segmenting the long sentence extremely causing vagueness existing in a natural language at the position of a conjunct auxiliary postpositional word in the sentence.

CONSTITUTION: A morphemic analyzed result is received as an input sentence, and when a preliminarily designated segmenting condition is fulfilled, the sentence is segmented by applying a segmentation rule corresponding to the meaning of the conjunct auxiliary postpositional word. However, when many conjunct auxiliary postpositional words are present in the sentence, the conjunct auxiliary postpositional word for segmenting the sentence is preliminarily selected by applying a segmentation priority rule. After the segmentation the processing of matching the tense of the end of the sentence is operated by applying a tense rule. Thus, when the conjunct auxiliary postpositional word, capable of segmenting the sentence is present in the sentence, the sentence can be segmented while preserving the meaning of the sentence regardless of the number of the conjunct auxiliary postpositional words. Therefore, even the sentence which can not be correctly analyzed conventionally because of the vagueness due to the long sentence, can be transformed into the short and simple sentence, and analyzing accuracy can be improved.



I: sentence input check, II: division capability, III: division priority rule, IV: sentence division, V: tense rule, VI: display, a: many conjunct auxiliary postpositional word capable of segmenting sentence are present, b: conjunct auxiliary postpositional word whose priority order is high is selected from segmentation priority rule

(51) Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/21

// A 6 1 K 7/00

識別記号

3 3 0

庁内整理番号

7218-5L

L 7327-4C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平3-68890

(22) 出願日

平成3年(1991)3月9日

(71) 出願人 000000952

鐘紡株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72) 発明者 奈須野 俊廣

神奈川県小田原市中町1丁目1番地1-601号

(72) 発明者 岩本 久雄

神奈川県小田原市本町4丁目10番15号

(72) 発明者 大森 明子

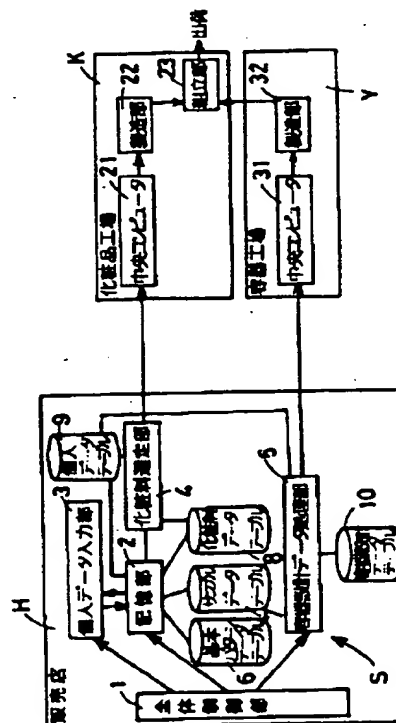
大阪府茨木市南春日丘3丁目6番16号

(54) 【発明の名称】 化粧品オーダーメイドシステム

(57) 【要約】

【目的】 個人の肌特性に適合した化粧料を好みの容器に収容したオリジナル化粧品を受注生産するシステムの提供を目的とする。

【構成】 肌特性の基本パターンデータ、生活環境等の要因のサンプルデータを記憶する記憶部(2)と、個人データ入力部(3)と、入力された個人データと上記基本パターンデータ及びサンプルデータとを比較して化粧料の選定を行う化粧料選定部(4)と、容器を設計するデータ処理部(5)とを備えてなり、得られた化粧料データと容器設定データとに基づき化粧料と容器とを夫々の工場において製造し、これら両者を組合せて化粧品を完成する化粧品オーダーメイドシステム。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 容器に化粧料を収容してなる化粧品のオーダーメイドシステムであって、肌の皮脂量、水分量、色等の肌特性データを組合せた基本パターンデータ及びこの基本パターンデータに適合する化粧料を選定した化粧料データを記憶する記憶手段と、個人の肌特性データを入力する個人データ入力手段と、入力された個人データと前記基本パターンデータとを比較し、前記化粧料データからの適合化粧料の選定を行う化粧料選定手段と、容器設計のためのデータ処理を行う容器設計データ処理手段とを備えてなり、前記化粧料データと容器設計データとに基づき化粧料と容器とが夫々製造され、これら両者を組合せて化粧品を完成することを特徴とする化粧品オーダーメイドシステム。

【請求項2】 記憶手段が、基本パターンデータ及び化粧料データとともに、生活環境、嗜好等の要因データを組合せたサンプルデータを記憶しており、個人データ入力手段から個人の肌特性データとともに個人データとして得られる前記要因データを入力し、入力された個人データと前記基本パターンデータ及びサンプルデータとを比較することにより、前記化粧料データからの適合化粧料の選定を行う請求項1記載の化粧品オーダーメイドシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファンデーション等の化粧品のオーダーメイドシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】基礎化粧品、メイクアップ化粧品のよう、シリーズで商品展開を行っていくものについては、シリーズ毎に共通コンセプトが設定され、容器のデザイン等は統一したものとすることが一般的である。

【0003】消費者の購買意識は時代とともに移り変わり、他人と同じものが欲しいという意識に対応して少品種大量生産を行ってきた時代から、今日は、他人とは違うもの、差別化されたものが欲しいという要望に応えるために多品種少量生産を行う時代へと移り変わってきている。

【0004】そして、更には、自分だけのもの、他人が持っていないものが欲しいという欲望へと発展し、オリジナル性を売り物にした個人対応生産も進んできている。

【0005】このような状況下にあって、化粧品分野においては、コンパクト容器に個人の名前を入れたり好みの絵を描いたりしてオリジナル性を高める工夫がなされている。

【0006】また、ファンデーション等の化粧料は、オークル系、ピンク系というように複数色取り揃えられ、自分の肌色に適合したものを購入できるようになっている。更に、夏用ファンデーションとしてさっぱりしたタ

2

イプのものを、冬用ファンデーションとしてしっとりしたタイプのものを提供することも行われている。

【0007】そして、販売店においては、顧客の肌の皮脂量や水分量を測定し、その測定結果により顧客の肌特性に適合したタイプの化粧料を推奨することが行われている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】このように、消費者の要望に応え個人対応生産の方向へと生産体制が移行し、完全な受注生産体制をとるようになると、生産にロスがなくなり、また店頭在庫が不要になるという大きな長所が生まれてくる。

【0009】しかしながら、化粧品においては、化粧料自体だけでも色、肌特性に対応するタイプ等の組合せにより多くの種類のものが構成され、その上に容器のデザインにまで変化をもたせるとなると、管理が極めて困難になることは明らかである。

【0010】また、オーダーメイドということになれば、顧客の生活環境、嗜好等の要因も加味したいという要望が出てくるとも予測されるが、それだけ多数の情報を多数の顧客から収集して、夫々について適合する化粧料を製造し提供していくことはほとんど不可能である。

【0011】更に、受注生産を行うと、コストアップにつながるのみならず、受注から納品までのリードタイムがひどく長くなることを免れない。

【0012】本発明は、上述のような実情に鑑みなされたものであって、顧客の肌特性、好み等を受注データとし、肌特性等に適合した化粧料を好みのデザインの容器に収容して提供する個人対応生産を実現しうる化粧品オーダーシステムの提供を目的とするものである。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明の化粧品のオーダーメイドシステムは次のような構成をとっている。即ち、容器に化粧料を収容してなる化粧品のオーダーメイドシステムであって、肌の皮脂量、水分量、色等の肌特性データを組合せた基本パターンデータ及びこの基本パターンデータに適合する化粧料を選定した化粧料データを記憶する記憶手段と、個人の肌特性データを入力する個人データ入力手段と、入力された個人データと前記基本パターンデータとを比較し、前記化粧料データからの適合化粧料の選定を行う化粧料選定手段と、容器設計のためのデータ処理を行う容器設計データ処理手段とを備えてなり、前記化粧料データと容器設計データとに基づき化粧料と容器とが夫々製造され、これら両者を組合せて化粧品を完成することを要旨とするものである。

【0014】また、上記記憶手段が基本パターンデータ及び化粧料データとともに、生活環境、嗜好等の要因データを組合せたサンプルデータを記憶しており、個人デ

ータ入力手段から個人の肌特性データとともに個人データとして得られる前記要因データを入力し、入力された個人データと前記基本パターンデータ及びサンプルデータとを比較することにより、前記化粧品データからの適合化粧料の選定を行うようにすると、より一層オリジナル性の高いものを得ることができる。

【0015】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

【0016】図1は、本発明の化粧品オーダーメイドシステムの一実施例を示す全体構成図である。原理的には、この図は販売店(H)と化粧品工場(K)と容器工場(Y)との3つの主な部分に分けられており、販売店(H)と化粧品工場(K)、及び販売店(H)と容器工場(Y)とは、データ通信ネットワークにより結ばれている。

【0017】販売店(H)は、化粧品受発注システム(S)を備えている。以下、このシステムにつき説明する。

【0018】図1において、(1)は全体制御部であって、これに接続された記憶部(2)、個人データ入力部(3)、化粧料選定部(4)、及び容器設計データ処理部(5)を順次起動し、結果の出力まで各機能を制御するようにになっている。

【0019】記憶部(2)には、図2に示す基本パターンデータテーブル(6)と、図3に示すサンプルデータテーブル(7)と、図4に示す化粧料データテーブル(8)とが接続されている。

【0020】基本パターンデータテーブル(6)は、図2に示すように、肌の皮脂量と水分量とを夫々「多」、「普通」、「少」と分類し、肌性を9分類し、更に肌色を5分類し、これらを合わせたものを肌特性の基本パターンとして格納しているものである。

【0021】また、サンプルデータテーブル(7)には、図3に示すように、生活環境や嗜好のデータのサンプルが複数個格納されている。この生活環境、嗜好データは、後に述べるアンケートの質問内容に対応したものである。

【0022】そして、図4に示す化粧料データテーブル(8)においては、前記基本パターンデータテーブル(6)のパターンデータと、サンプルデータテーブル(7)のサンプルデータとが夫々組合せられ、その組合せに最適な化粧料データが格納されている。即ち、基本パターンデータテーブル(6)におけるパターンA-①と、サンプルデータテーブル(7)におけるサンプル(イ)とを組合せたタイプには、化粧料P₁が適合するということがわかるのである。

【0023】個人データ入力部(3)は、顧客の肌特性データ及び生活環境、嗜好等の要因データを記憶部(2)へと入力する。

【0024】上記肌特性データにおいて、皮脂量や水分量は店頭用測定機器による測定結果とし、また肌色は、サンプル色とのカラーマッチング等により調べた結果を用いることができる。

【0025】生活環境、嗜好等の要因データは、店頭におけるアンケート調査により得ることができる。例えば、「アルコールをよく飲みますか」、「睡眠時間を充分にとっていますか」というような質問に対して「はい」、「いいえ」で答えていくのである。

【0026】また、個人データ入力部(3)からは、上記のデータ以外に、色調の好み等、具体的要望事項も入力されるようになっている。

【0027】然して、上記のように入力された個人データを、記憶部(2)に接続された基本パターンデータテーブル(6)及びサンプルデータテーブル(7)に格納されているデータと比較して一致又は類似するデータを取出す。そして、化粧料選定部(4)において、化粧料データテーブル(8)をみるとともに具体的要望事項等を要件に入れた上で対象となる顧客用の化粧料を選定するのである。

【0028】尚、上記化粧料選定部(4)及び記憶部(2)には、個人データテーブル(9)が接続されており、上述の如く入力された各種データ及び選定された化粧料データを格納し、これを顧客カルテとして用いるようになっている。

【0029】このようにして選定された化粧料データは、通信ネットワークを介して化粧品工場(K)内の中央コンピュータ(21)へと送られ、製造部(22)において送られたデータに基づく製造が開始されるようになっている。

【0030】容器設計データ処理部(5)には、容器設計データテーブル(10)が接続されている。この容器設計データテーブル(10)は、容器の形状、大きさ、表面デザイン、色等を選択項目とし、夫々の項目毎に複数個の選択データを格納している。

【0031】また、図5に示すように、容器を構成する各部品について、夫々複数種類の中から選択を行っていき、更に夫々色決定を行うような選択式テーブル(10')としてもよい。

【0032】更に、CADシステムを利用し、対話方式により顧客が自由に容器のデザイン設計を行うようにすることもできる。

【0033】このようにして、決定された容器設計データは、通信ネットワークを介して容器工場(Y)内の中央コンピュータ(31)へと送られ、製造部(32)においてこのデータに基づく容器製造が開始されるのである。

【0034】尚、容器設計データ処理部(5)にも前記個人データテーブル(9)が接続され、決定した容器設計データも化粧料データとともに格納しておくようにな

っている。

【0035】容器工場（Y）においては、多品種少量即生産に対応すべく、カセット式の金型を用いている。これは、射出成形金型において、製品部に相当する部分をベース金型に入れ換え可能としたものであって、多数個取りとすることもでき、フレキシブル生産、生産工程の大幅な合理化を実現しうるものである。

【0036】また、図5に示す選択式テーブル（10'）を用いて部品の選択式で容器設計を行う場合には、予めその部品を準備しておくことにより、受注即組立体制が可能となる。

【0037】更に、CADシステムを利用して設計を行う場合には、作成された設計データをCAMシステムに送ってそのまま工作機械による金型製作を行うことができる。

【0038】以上のようにして、容器工場（Y）において容器設計データに基づき製造された容器は、化粧品工場（K）へと出荷される。そして、化粧品工場（K）において製造された化粧料が、組立部（23）で容器に充填、包装されて最終商品となり、注文者の手へ渡る物流ルートに出荷されるのである。

【0039】尚、本発明において、対象とする化粧料を化粧水、乳液等の基礎化粧品とする場合には、色に関するデータは必要なく、皮脂量、水分量等の肌性を重点的に肌特性データとすればよい。

【0040】また、口紅や毛髪化粧品を対象とする場合には、唇や頭皮又は毛髪のデータを用いることにより、本発明のシステムを適用することができる。

【0041】

【発明の効果】以上述べた通り、本発明のシステムによれば、顧客の肌特性に適合した化粧料を好みの容器に収容してなる化粧品を1人1人に対して提供することができ、今日の消費者の欲求を十分に満足させることが可能

となる。

【0042】そして、化粧料データ及び容器設計データが夫々合理的に設定されて各製造工場へと送られるため、受注から生産までを極めてスムーズに進めることができる。

【0043】また、このような受注生産体制をとることにより、完成した化粧品を工場や販売店に在庫として置いておく必要がなくなり、コスト面、スペース面においても優位に立てることは明らかである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す全体構成図である。

【図2】同実施例における基本パターンデータテーブルの構成図である。

【図3】同実施例におけるサンプルデータテーブルの構成図である。

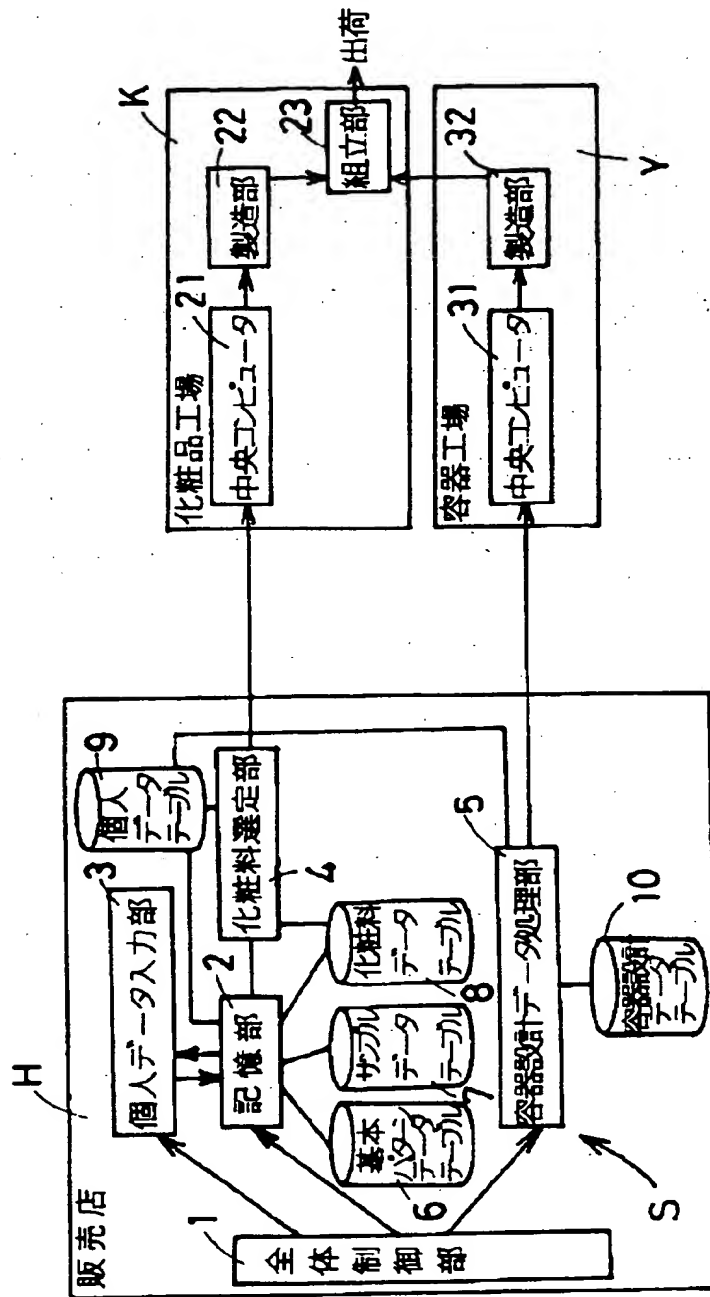
【図4】同実施例における化粧料データテーブルの構成図である。

【図5】同実施例における容器設計データテーブルを選択式とした例の構成図である。

【符号の説明】

- 1 全体制御部
- 2 記憶部
- 3 個人データ入力部
- 4 化粧料選定部
- 5 容器設計データ処理部
- 6 基本パターンデータテーブル
- 7 サンプルデータテーブル
- 8 化粧料データテーブル
- 9 個人データテーブル
- 10 容器設計データテーブル
- 21, 31 中央コンピュータ
- 22, 32 製造部
- 23 組立部

【図1】



【図2】

皮脂水分	多	普通	少
多	A	B	C
普通	D	E	F
少	G	H	I

色	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

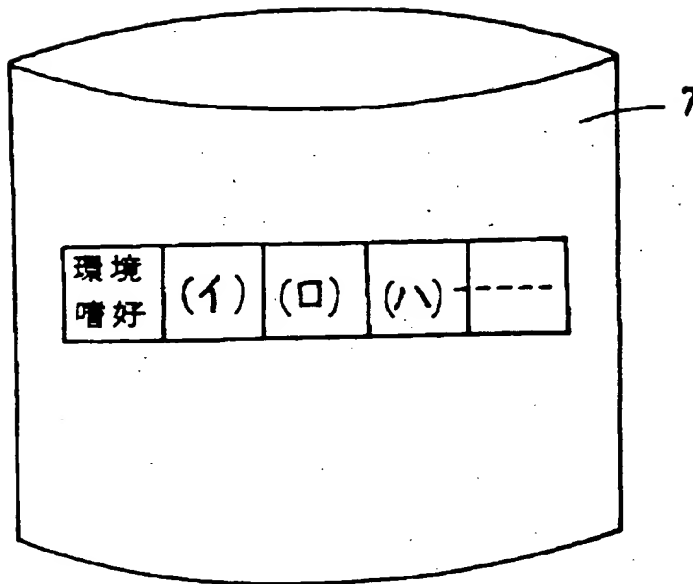
パターン	A-①	A-②	A-③	A-④	A-⑤
	B-①				

【図4】

	A-①	A-②	A-③	A-④	A-⑤
(1)	P _A	Q _A	R _A	S _A	T _A
(口)	U _A				

	B-①	B-②	B-③	B-④	B-⑤
(1)	P _B	Q _B	R _B	S _B	T _B
(口)	U _B				

【図3】



【図5】

